

学科名	一級自動車科				
科目名	工作作業				
履修年次	3年次	履修学期	4月～7月	授業形態	実習
時間数	15時間				
担当教員	阿部 淳 山本 裕貴	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	物づくりを意識したクリエイション				
到達目標	・正しい寸法で製作する。 ・機械工具、電気工具が正しく使用できる。 ・安全作業を身に付ける。				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	・部品整理用ボックス作成説明				2
	・使用機器、工具等の使用方法、練習				3
	・けがき作業				2
	・切断作業（プラズマカッター使用）				2
	・切断箇所を仕上げ作業（グラインダ、やすり使用）				2
	・溶接作業（TIG・MIG溶接機使用）				2
	・完成品評価				1
前期期末実習試験				1	
使用教科書	総合診断・環境保全・安全管理				
成績評価の方法	前期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	測定作業				
履修年次	3 年次	履修学期	4月～7 月	授業形態	実習
時間数	15時間				
担当教員	阿部 淳 山本 裕貴	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	最新の機器を使った各種測定技術				
到達目標	・電気回路を理解する。 ・測定機器を正しく使用することができる。				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	・電子ブロックを使用した電気回路の基礎学習、サーキット・テストの取扱い。			6	
	・オシロ・スコープの取扱い			4	
	・実車にてサーキット・テスト、オシロスコープを使用し、各センサ電圧、波形観測			4	
	・前期期末実習試験			1	
使用教科書	エンジン電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	エンジン整備				
履修年次	3 年次	履修学期	4月～2月	授業形態	実習
時間数	131時間				
担当教員	阿部 淳 上杉 裕紀	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	エンジン各部品を正確に分解、点検、組付けする要領を習得する。 定期点検整備を正確に、かつ効率よく作業ができるようにし、各種記録簿の作成、 納車説明及び接客応対を身に付ける。				
到達目標	各特殊工具の使用ができる 各定期点検ができる		接客応対ができる 故障探求ができる		
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	エンジン整備				
	エンジン各部点検調整、エンジン脱着、エンジンO/H				77
	電子制御システム基礎学習及び高度エンジン整備				15
	3か月、6か月定期点検、12か月定期点検及び24か月定期点検学習				37
	前期期末実習試験・後期期末実習試験				2
使用教科書	エンジン電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	自動車整備作業（エンジン点検、シャシ点検、電装点検、故障探求）				
履修年次	3年次	履修学期	4月～2月	授業形態	実習
時間数	240時間				
担当教員	阿部 淳 上杉 裕紀	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	シャシ各部品を正確に分解、点検、組付けする要領を習得する。 定期点検整備を正確に、かつ効率よく作業ができるようにし、各種記録簿の作成、 納車説明及び接客応対を身に付ける。				
到達目標	各特殊工具の使用ができる 各定期点検ができる		接客応対ができる 故障探求ができる		
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容 シャシ整備 4輪シャシダイナモ、馬力測定、燃費測定等 ステアリングギヤボックス脱着、O/H、部品確認 AT脱着、O/H、部品確認、CVTの作動原理、部品確認 デファレンシャル脱着、O/H、バックラッシュ調整等作動確認 ホイールアライメント測定、調整、サイドスリップテスト使用 ハイブリッド基礎学習 エアコンガス充填方法、各部品の働き タイヤ・ホイールのアンバランス、その他シャシ整備 前期期末実習試験・後期期末実習試験				時間数 14 33 28 14 28 28 28 65 2
使用教科書	シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	自動車整備作業（エンジン点検、シャシ点検、電装点検、故障探求）				
履修年次	3 年次	履修学期	4月～2月	授業形態	実習
時間数	104時間				
担当教員	阿部 淳 上杉 裕紀	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	電気装置各部品を正確に分解、点検、組付けする要領を習得する。 外部診断機を使用し正確、かつ効率よく作業ができるようにし、電子制御システムの制御を理解し、系統別に正しい手順で整備する技術を身に付ける。				
到達目標	各特殊工具の使用ができる 各定期点検ができる		接客応対ができる 故障探求ができる		
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容 電装整備				時間数
	OBDについて、外部診断器の取り扱い、各ダイアグコード確認				24
	オシロスコープの取り扱い、波形読み取り及び測定				20
	ドアロック、パワーウインド、ワイパー、各ランプ類の点検				14
	始動装置及び充電装置脱着、O/H その他電装整備				44
	前期期末実習試験・後期期末実習試験				2
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	自動車整備作業（エンジン点検、シャシ点検、電装点検、故障探求）				
履修年次	3年次	履修学期	4月～2月	授業形態	実習
時間数	128時間				
担当教員	阿部 淳 上杉 裕紀	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニクの経験がある。		
目的	エンジン及びシャシ各部品の点検整備を正確に、かつ効率よく故障探求作業ができるようにし、電子制御システムの制御を理解し、系統別に正しい手順で原因を究明する技術を身に付ける。				
到達目標	各特殊工具の使用ができる 各定期点検ができる		接客応対ができる 故障探求ができる		
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	故障探求				
	エンジン本体（圧縮測定、オイル下がり、上がり、異音等）			39	
	各ダイアグコード出力の原因（エンジン、AT、ABS等）			56	
	高難度故障探求、車両総合故障探求			32	
	後期期末実習試験			1	
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	自動車検査作業				
履修年次	3 年次	履修学期	9月～1月	授業形態	実習
時間数	2 9 時間				
担当教員	阿部 淳 上杉 裕紀	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	検査機器を使った確実な検査技術				
到達目標	・ 完成検査の流れ、検査方法、調整方法を理解する。 ・ 自動車の保安基準を理解する。				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	自動車完成検査の検査方法 ・ サイドスリップ・テスト ・ ブレーキ・テスト ・ スピードメータ・テスト ・ ヘッドライト・テスト ・ CO・HCテスト、オパシメーター ・ 騒音計 ・ 下廻り検査 ・ 検査結果確認後、調整、再検査作業			28	
	後期期末実習試験			1	
使用教科書	法令教材				
成績評価の方法	後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	評価実習（自動車点検整備、故障探求、総合診断）				
履修年次	3 年次	履修学期	10月～1月	授業形態	実習
時間数	7 0 時間				
担当教員	阿部 淳 上杉 裕紀	実務経験	自動車関連会社に勤務し、メカニックの経験がある。		
目的	社会に出て即戦力となりうる実践的な技術の評価実習				
到達目標	・ お客様を想定して受付、問診、引き渡し時などの接客対応を学ぶ。 ・ 定期点検整備と付帯された故障探求作業を時間内で行う。				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	・ お客様を想定し、実車にて定期点検整備（12ヶ月）の 受付、問診、診断、引き渡しの実施を行う。				
	受付、問診、不具合箇所の診断の実施			14	
	引き渡し（整備内容説明）の実施			14	
	・ 定期点検整備			20	
	・ 故障探求作業（エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置） 外部診断機、サーキット・テスト、オシロスコープを活用			21	
	後期期末実習試験			1	
使用教科書	エンジン電子制御装置、、シャシ電子制御装置、総合診断・環境保全・安全管理				
成績評価の方法	後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				